

# 令和元年度 大垣市教育振興基本計画策定委員会 第2回会議録

- 1 **と き** 令和元年10月31日（木） 9:00～10:15
- 2 **と ころ** 大垣市役所北庁舎北館1階 教育委員会室
- 3 **出席者** 三宅治委員長、長谷川哲也副委員長、井上瞳委員、田村弘司委員  
三代広子委員、川合麻美委員、川合美穂子委員
- 4 **事務局** 山本教育長、守屋事務局長、山下庶務課長、渡邊学校教育課長、  
石橋教育総合研究所長、堀社会教育スポーツ課長、  
中井文化振興課長、大谷上石津地域教育事務所長、  
加藤墨俣地域教育事務所長、中山南部北部学校給食センター所長、  
安田図書館長、吉安庶務課主幹、大橋庶務課主査
- 5 **傍聴者** なし
- 6 **議 題**
  - (1) 第1回目からの変更点について
    - ① 計画全体
    - ② 学校教育
    - ③ 社会教育
    - ④ 文化振興
    - ⑤ 図書館活用
    - ⑥ スポーツ推進
  - (2) 今後の予定について

## 7 会議録

### (1) 第1回目からの変更点について

#### ① 計画全体

資料に基づき、山下庶務課長が説明

発言者	発言概要
委員	スポーツ推進分野の「する」「みる」「支える」の「支える」が、前回平仮名だったのが漢字に変更されている理由は何か。
堀 社会教育 スポーツ課長	スポーツ庁から出版されているものが、漢字表記と平仮名表記と色々あり、参考にしたものによって変わってしまったため、一度検討させていただく。
委員	SDGsについて追記したことで、各分野においてそれに沿っているかなど検討していくことはあるか。
山下 庶務課 長	SDGsの4項目目に「質の高い教育をみんなに」とあり、この計画はその項目を担っているという意味で、全項目について各分野で検討していくことはない。
委員	具体的にどういったところでSDGsを達成していくかということは設けないのか。計画を実施していくことで達成していくということか。
山下 庶務課 長	そうです。
委員	どれだけ重要視していくかだが、「計画の位置づけ」に記載するということは、重要視してやっていくということにならないか。それに向けてどのようにやっていくかが必要になってくるのではないか。
山下 庶務課 長	SDGsには17の目標と169のターゲットがあるが、それについてどのように推進していくかという細かいことまでは想定していない。
委員長	いま出ている指標と目標値がSDGsのどの目標等に当てはまるか確認すると良いのではないか。 全ての指標をSDGsの目標に当てはめる必要はないと思う。

② 学校教育

資料に基づき、渡邊学校教育課長が説明。

質疑応答はなし。

③ 社会教育

資料に基づき、堀社会教育スポーツ課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員長	2020年度から制度が改正されるが、指標名の中の「社会教育主事養成人数」は「社会教育士養成人数」でなくて良いか。
委員	社会教育主事の講習は今まで通りあり、社会教育主事はその中で任命していくことになる。講習としては主事という名称が残る。
委員	社会教育主事の後に「養成」という言葉がついても問題ないか。主事を養成するということか。
委員	そうです。
委員	地域で行う学習会や研修会への講師派遣回数が「0回」となっているが、0回だったのか、もしくは基準値がないのかどちらか。
堀 社会教育 スポーツ課長	今までの基準値がないものなので「0回」を「-回」に修正させていただく。

④ 文化振興

資料に基づき、中井文化振興課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	歴史あるものを大切にするとすると、新しくグローバルにめざしていくものと上手くバランスが取れていると思う。 指標に事業数を増やしていくものがあるため、新規事業を増やしていくことになると思うが、理解をいただいて予算をつけていただきたい。
委員	伝統文化親子教室の実施団体数を2団体増やす目標になっているが、減ってきているものに歯止めをかけているのか、その辺りの意味を聞かせていただきたい。
中井 文化振 興課長	毎年同じ団体が文化庁の事業に採択されており、現状維持されているものを新たに増やしていこうという趣旨です。

⑤ 図書館活用

資料に基づき、安田図書館長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	人口減少を加味した目標値ということだが、「人口減少を加味しています」とう文句を一文入れてはどうか。
山下 庶務課長	全分野について共通しており、どこかに一文を入れたいと思う。
委員	指標が他の分野より多い。型にとらわれずに必要に応じて決めることが大切だと思うが、その辺りについて聞かせていただきたい。
安田 図書館長	他の分野より指標数が多くなったが、どれも必要な指標であるため、推進していく。

⑥ スポーツ推進

資料に基づき、堀社会教育スポーツ課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	今年度も県民スポーツ大会の総合優勝が決まった。10回目の優勝である。大垣はスポーツへの取り組みが多く、良いと感じている。
委員	日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数の200人は、毎年徐々に上げていく目標になるのか。
堀 社会教育スポーツ課長	毎年40人増やしていくことが目標値となる。指導資格は4年に1回の更新が必要で、費用も1万円かかることから、年に40人ずつ受講してもらおうよう計画を立てている。
委員	現在の指導者が全員この新資格に移行してもらえるかという課題がある。移行していただかないと、少年団の維持にもかかわってくるので指導者の協力も必要だと思っている。
委員	子どもには指導者の影響が大きいので、日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数を増やしていくことは非常に良いことだと思う。お金がかかる、更新が必要となると責任感も出るため、非常に期待している。
委員	指導者はスポーツとは何かを教えるのが根底にあるはずなのに、勝敗優先になっているなどの課題があるため、この資格に期待したい。

(2) 今後の予定について

資料に基づき、山下庶務課長が説明。

以下、質疑応答の概要

発言者	発言概要
委員	計画の決定までのスケジュールを伺ったが、実際にどんな事業をするのかということは、この後決めていくのか。
山下 庶務課長	その予定です。

閉会